多目的光重合型レジン

# ユニファストLC

光重合ならではのすぐれた特性で
用途がさらに拡がります。

# 一段と使いやすく、一段と幅広い用途に。

多目的に応用できる即時重合レジン「ユニファスト」のすぐれた特長に、光重合ならではの使いやすさをプラスした「ユニファスト LC」。アイデア次第でさまざまな用途に応用が可能です。従来のユニファストとの使い分け、あるいは併用により、診療・技工作業の効率が格段に向上します。

### すぐれた耐変色性。

新しい重合触媒を採用しておりますので、従来の化学重合型の即時重合レジンのような、口腔での変色がほとんとありません。

### 切削性が良好。

硬化後の架橋構造が緻密ですから、バーやポイントへのまつわりがなく、効率のよいトリミングや修正作業が行えます。

### 気泡がなく滑沢な仕上がり。

光重合では、はじめての粉液タイプ。微細な粉末は液との相性がよく、硬化表面が滑沢です。しかも、筆積み法により気泡のほとんどない補綴物を作製できます。

### バランスのとれた理工学特性。

物性的にも様々な改良が行われ、トータルバランスにすぐれた理工学的特性を発揮します。

## 光重合ならではのスピード硬化。

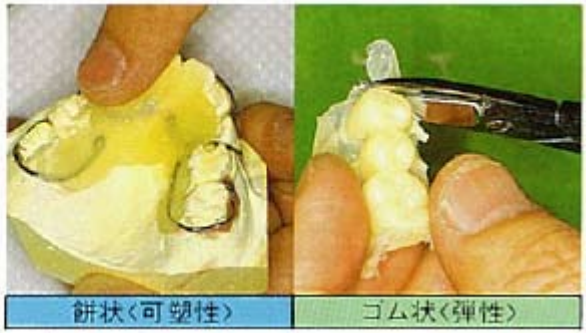
必要なときに可視光線を照射することにより、すばやく確実に重合。照射時間はジ - シーライト VL-I で 20 秒、ラボライト LV-I で 1 分と短時間ですから、作業効率が一段と向上します。

## 部分的重合も可能。

ジーシーライト VL-I により、必要な部分のみを重合させることができます。直接、口腔内に適合させた状態で、重合収縮の補正を考慮した作業が行え、適合性にすぐれた暫間補綴物が作製できます。

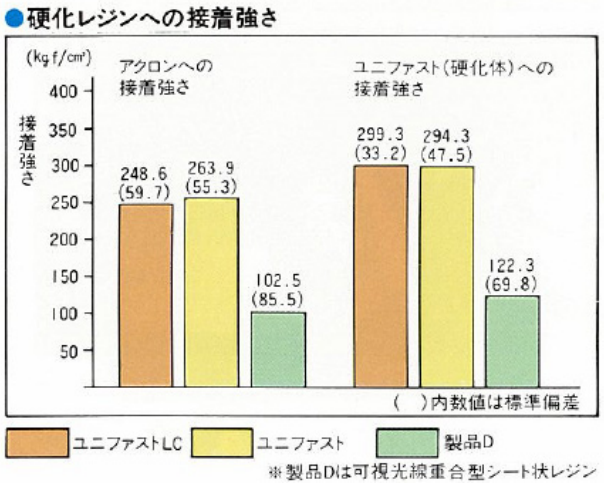
## たっぷりの操作余裕

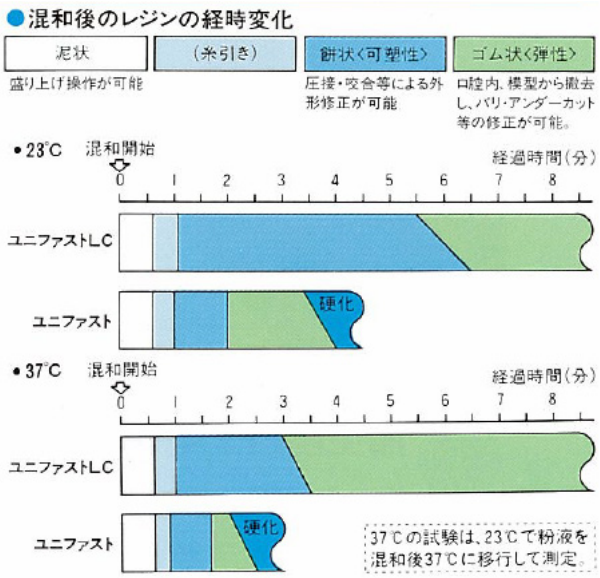
硬化のタイミンクが自由に選べるのも光重合の大きな特長。「ユニファスト LC」は、重合前、時間の経過とともに、泥状、餅状、ゴム状と 3 ステップに変化。可塑性のある餅状時間は、十分に長く設定してありますので、余裕をもって操作が行えます。しかも、ゴム状時は弾性が高く、アンダーカットのある症例も撤去が容易。また、光照射前にハサミやカッターでアンダーカットやバリの修正が簡単に行えます。




## レジンとの強固な接着。

床用レジンはもちろん . 従来のユニファストとも、強固な接着力を発揮しますので、それぞれの特長を活かした併用が可能です。



# 化学重合タイプでは難しい多様な症例に応用。効率的な作業を実現します。

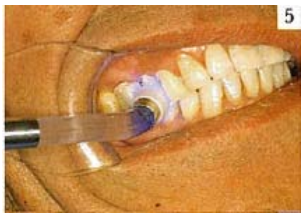
## 直接法によるテンポラリークラウンの製作方法（654 の 5 がポンティックのケース）

混和泥を、あらかじめ遁路をつけたアルジネート印象材に流し込みます。

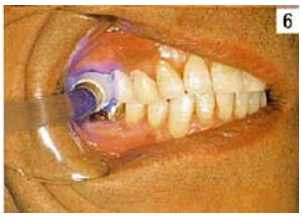
印象を口腔内の元の位置に戻し、圧接して適合させます。

2 分間、口腔内で保持し、ゴム状になるのを待って印象を撤去します。

口腔外に取り出し、バリやアンダーカットを修正します。ゴム状時は金冠バサミ等でたやすく修正が可能です。




十分に整形した後、口腔内に再装潜し、咬合させた状態で 5 のポンティック部のみ部分的に重合します。このようにすることにより、咬合位の変化がなく収縮が補正され適合不良が起こりません。




4、6 を順次重合します。その後、口腔外に取り出し、未照射部位を重合させます。(このケースではラボライト LV-I による重合が能率的です。)この後、必要に応じて形態修正、仕上げ研磨を行います。

完成したテンポラリーブリッジ。

## ●直接法によるテンポラリーインレーの作製

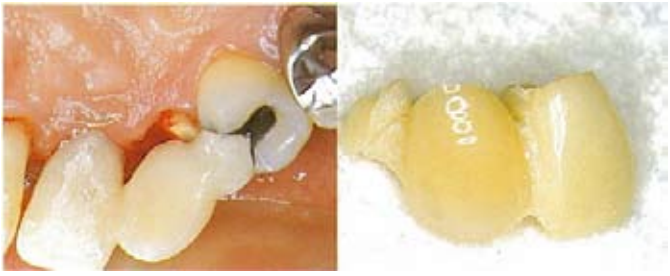
インレ -、アンレーなどの直接法による作製の際には、重合後の取り出しがきたなくなる場合があります。ユニファスト LC なら、ゴム状の際に口腔内から取り出し、アンダーカットを修正した後、再び口腔内に戻して重合させることができます。

## ●直接法によるテンポラリーアンレーの作製

ユニフアスト LC は口腔内へ適合させた状態で硬化させることが可能ですので適合性に優れた補綴物を作製することができます。

## ● 直接法によるテンポラリークラウンの連結固定によるブリッジの作 製

口腔内での直接連結固定 , 位置固定などの際には、とりわけ重合速度の速さが求められます。ユニファスト LC は、ジーシーライト VL-I により、20 秒の光照射で重合できますから、速やかな固定が可能です。
※2＝シェルック (= よるテンポラリークラウン
3＝既製人工歯を削合調整したポンティック＋キーウェイ



## ●間接法による床矯正器の作製

ユニフアスト LC は、泥状の時点から光重合が可能ですので、ちょっとした位置固定は筆で泥を盛り上げた後、ジーシーライト VL- I で光照射。手軽に固定することができます。また餅状が長く持続しますので余裕をもって付形が行えます。